

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 22-130
補助事業名 平成22年度素形材産業の高度化推進補助事業
補助事業者名 (財)素形材センター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

素形材産業に従事する人材の育成を図るため、実践的な研修及びセミナーの開催並びに技術水準向上に貢献した素形材技術等の調査・公表を行うことによって、素形材産業の発展を図り、もって機械工業の振興に寄与する。

(2) 実施内容

[1] 素形材関連情報収集等発信事業

<1> 素形材関連情報発信事業

素形材企業の受注型経営から提案型企業への転換及び素形材関連の経営支援、また、新素形材技術の確立、素形材加工技術の高度化等技術開発の促進を目的に、素形材産業に関連する各業界の業況や国内外の最新の技術・経営情報を収集し、素形材産業の技術者、経営者に適宜情報を提供した。

<2> 素形材産業優秀技術等調査

素形材産業にあつて優秀な素形材に係る技術の開発等により、我が国素形材技術の技術水準等の進歩向上に著しく貢献した技術と開発者及び工場内外の作業環境、周辺環境等の環境を整備し、あるいは地球環境保全に配慮した対策を講じ、具体的な効果をあげた工場について、書類審査、ヒアリング調査、現地調査を実施し、その成果を公表した。

[2] 素形材研修セミナー事業

1) 素形材技術研修講座

主として素形材企業の現場経験3～5年程度の技術者や技能者を対象に、正しい理論に裏付けられた技術を身につけ、工場の諸問題に的確に対応できるとともに現場をリードできる技術者を育成するための素形材技術研修を実施した。

研修は、平成22年7月から平成23年3月に至る間に2～5日間の講座を延べ37日間、222時間にわたって、東京都6回、名古屋1回、大阪1回、神戸1回及び広島2回の計11回開催した。

2) 素形材技術セミナー

素形材産業に携わる中堅以上の技術者を対象として、最近各業界で話題となっているテーマについて、数名の講師によるプレゼンテーションで構成する素形材技術セミナーを9回開催した。開催日、テーマは次のとおりである。

開催日	テーマ
平成22年 9月17日	品質・生産性向上をめざすダイカストの最新技術

	9月29日	鋳物の圧倒的品質保証を目指して
	10月26日	鍛造用金型の寿命向上対策の要因を探るⅠ
	12月17日	鋳鋼品の鋳造欠陥の真の原因追及とその対策
平成23年	1月28日	鋳鉄品の鋳造欠陥現象における真の原因追及とその対策
	2月1日	低炭素工場を目指す電化の現状とこれから
	2月15日	鍛造用金型の寿命向上対策の要因を探るⅡ
	2月18日	軽合金鋳物・ダイカストの欠陥・不良対策の勘所
	2月25日	球状黒鉛鋳鉄の不良とその対策

3) 素形材経営セミナー

今後の競争力強化としての経営情報提供として、素形材分野の共通・横断的テーマを取り上げ、素形材業界の横の連携、或いは素形材業界とユーザ業界の連携による技術の創出と進化を目指し、「素形材新技術連携シンポジウム」を開催した。開催日時、テーマは以下のとおりである。

開催日	テーマ
平成22年11月11日	「素形材新技術連携シンポジウム」

2 予想される事業実施効果

[1] 素形材関連情報収集等発信事業

<1> 素形材関連情報発信事業

素形材産業の製造技術、素形材加工技術等の最新技術動向や経営に関する各種情報を収集し、国際競争に晒される素形材産業の技術者及び経営者等に対して最新の情報提供ができたことは、機械産業の基盤である素形材業界ばかりでなく、広く機械工業の振興発展に貢献することが期待される。

<2> 素形材産業優秀技術等調査

素形材技術の水準の進歩向上に著しく貢献した優秀な素形材産業技術と技術開発者及び工場内外の作業環境、周辺環境等の環境を整備し、あるいは地球環境保全に配慮した対策を講じ、具体的な効果をあげた工場を広く公表することにより社員のモチベーションを高めるとともに素形材産業の活性化が図られる。

[2] 素形材研修セミナー事業

素形材のユーザである需要家の海外展開による空洞化や海外調達等素形材業界の環境は非常に厳しい中であって、理論に裏付けられ、また素形材の需要家からの多様化するニーズに対応できる生産技術者の育成のために実施した実践的な研修は、素形材技術の継承・発展に大きく寄与するものと期待される。

また、素形材産業における先端技術等に係る素形材技術セミナーを多数の参加者を得て実施したことは、各講義とも最新技術動向の現状、課題、可能性等について詳細な説明が行われたことから、素形材技術の中堅技術者のレベルアップ、育成に貢献すると考えられる。

素形材経営セミナーでは、素形材分野の共通・横断的テーマを取り上げ、

素形材業界の横の連携、或いは素形材業界とユーザ業界の連携による技術の創出と進化を目指した「素形材新技術連携シンポジウム」を開催したことは、ユーザ産業の製品開発の情報をいち早く取り込み、自社技術の高度化、拡大への取り組みを活発化させる情報の提供として、日本の素形材産業の競争力強化と国際化の活性化に繋がると期待される。

3 本事業により作成した印刷物等

[1] 素形材関連情報収集等発信事業

<1> 素形材産業優秀技術調査

第26回素形材産業技術賞応募要領

第22回素形材産業環境優良工場表彰応募要領

[2] 素形材研修セミナー事業

案内送付用封筒

1) 素形材技術研修講座

消失模型鑄造法パンフレット

鑄鉄の基礎と応用パンフレット

鑄鉄の生産技術(東京)パンフレット

銅合金鑄物の生産技術パンフレット

鑄鋼の生産技術パンフレット

鑄鉄の生産技術(広島)パンフレット

鑄型の生産技術パンフレット

球状黒鉛鑄鉄の生産技術パンフレット

鑄鉄の鑄造方案技術パンフレット

軽合金鑄物の生産技術パンフレット

アルミニウムダイカストの生産技術パンフレット

消失模型鑄造法テキスト

2) 素形材技術セミナー

品質・生産性向上をめざすダイカストの最新技術パンフレット

鑄物の圧倒的品質保証を目指してパンフレット

鍛造用金型の寿命向上対策の要因を探るⅠパンフレット

鑄鋼品の鑄造欠陥の真の原因追求とその対策パンフレット

鑄鉄の鑄造欠陥現象における真の原因追求とその対策パンフレット

低炭素工場を目指す電化の現状とこれからパンフレット

鍛造用金型の寿命向上対策の要因を探るⅡパンフレット

軽合金ダイカストの欠陥・不良対策の勘所パンフレット

球状黒鉛鑄鉄の不良とその対策パンフレット

鑄物砂の現状とこれからパンフレット

品質・生産性向上をめざすダイカストの最新技術テキスト

鑄物の圧倒的品質保証を目指してテキスト

鍛造用金型の寿命向上対策の要因を探るⅠテキスト

鑄鋼品の鑄造欠陥の真の原因追求とその対策テキスト

鑄鉄の鑄造欠陥現象における真の原因追求とその対策テキスト
低炭素工場を目指す電化の現状とこれからテキスト
鍛造用金型の寿命向上対策の要因を探るⅡテキスト
軽合金ダイカストの欠陥・不良対策の勘所テキスト
球状黒鉛鑄鉄の不良とその対策テキスト

3) 素形材経営セミナー

素形材新技術連携シンポジウム パンフレット
素形材新技術連携シンポジウム テキスト

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： (財)素形材センター (ソケイザイセンター)

住所： 〒105-0011

東京都港区芝公園3-5-8

代表者： 会長 緒方 謙二郎 (オガタ ケンジロウ)

担当部署： 総務部 (ソウムブ)

担当者名： 総務部長 平野 誠一 (ヒラノ セイイチ)

電話番号： 03-3434-3907

FAX： 03-3434-3698

E-mail： mail@sokeizai.or.jp

URL： <http://sokeizai.or.jp>